

令和5年度

# 全国学力・学習状況 調査結果の概要



角田市教育委員会

# 1 調査結果の概要

今年度実施しました『全国学力・学習状況調査』の結果についてお知らせいたします。調査対象は、小学校6年生と中学校3年生です。角田市教育委員会といたしましては、各学校と情報を共有しながら、児童生徒一人一人の学習状況に応じた学習指導の改善・充実に取り組んでいきたいと考えております。今回、お知らせする結果については、市内の小・中学校の学習状況の傾向を示しております。

## (1) 調査の目的

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日 令和5年4月18日(火)

(3) 調査対象 小学校6年生 5校202人  
中学校3年生 2校186人

## (4) 調査内容

- ① 教科に関する調査 <小>国語, 算数 <中>国語, 数学, 英語
- ② 児童生徒質問紙調査 学習意欲, 学習・生活習慣, 規範意識, 自己有用感等

## (5) その他

本調査の結果については、市内小中学校の全体的な傾向を示していますが、様々な学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

(6) 教科に関する調査結果 <宮城県の数値は仙台市を除く調査結果です。>

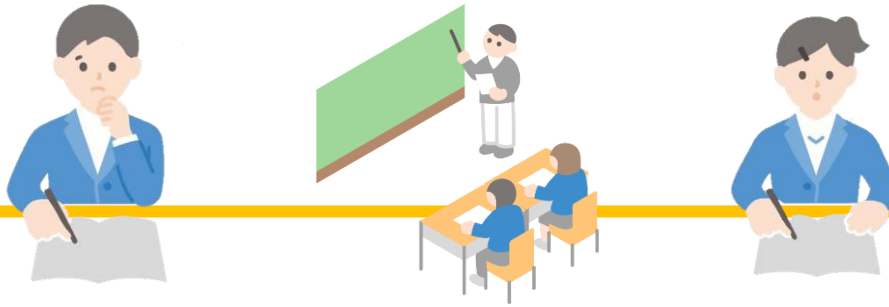
① 小学校における平均正答率比較 [%]

	角田市	宮城県	全国
国語	64	65	67.2
算数	58	58	62.5

② 中学校における平均正答率比較 [%]

	角田市	宮城県	全国
国語	64	68	69.8
数学	41	44	51.0
英語	36	39	45.6

## 2 教科に関する調査結果の分析と考察



下記は、角田市内の小学校6年生、中学校3年生の全国学力・学習状況調査における『平均正答率（全体と観点別）』と『正答数分布状況のグラフ』及びその「考察」です。

なお、正答数分布状況のグラフについては、縦軸が人数の割合(%), 横軸が正答数を表しており、市内の児童生徒の人数の割合は棒グラフで表記してあります。比較のために県・全国の割合を折れ線グラフ（県→▲、全国→◆）として示してあります。

『考察』については、平均正答率における全国と宮城県と比較や、グラフを基にした正答者数分布状況、そして、『問題別解答類型』の誤答分析から明らかとなった児童生徒のつまずきポイント、今後の指導の重点について記載しました。

(※『問題別解答類型』については、膨大な資料のため掲載を割愛しています。)

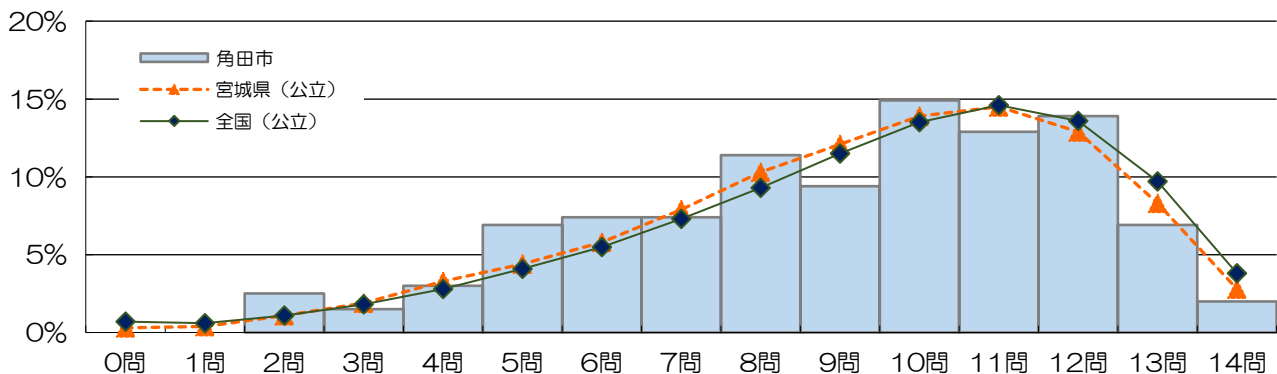
### (1) 小学校 国語 〔%〕

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
国語	64	65	67.2	66.1	68.5	68.9	62.9	63.7	65.5

#### 考察

全体の平均正答率は、全国を3.2ポイント下回りました。観点別の平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、県と全国平均正答率とほぼ同等でした。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、10問の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「話すこと・聞くこと」に関する記述式問題において、無解答率が県と全国を上回りました。今後、インタビュー等、話し手の内容を捉えながら、目的や意図に応じて自分の考えをまとめ、文章に書き表す指導を強化していきます。

【正答数分布状況】 ※設問数14問



## (2) 小学校 算数

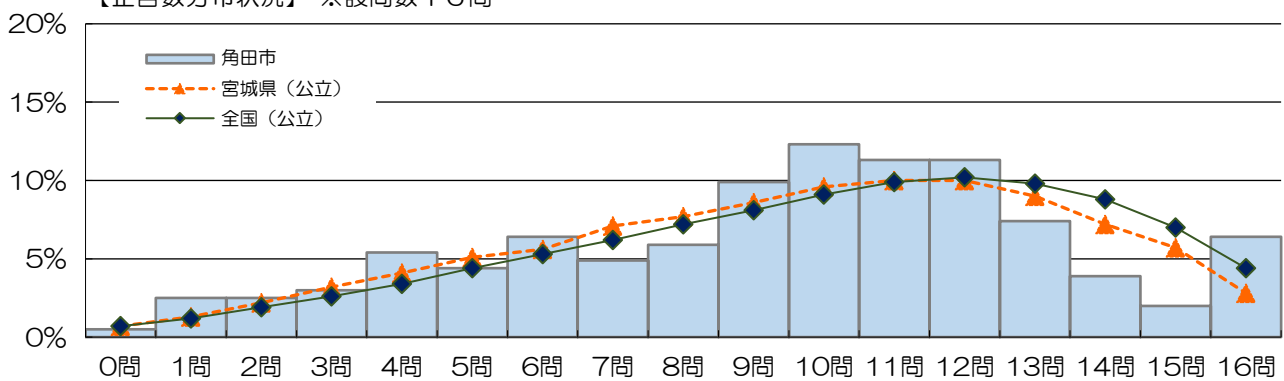
[%]

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
算数	58	58	62.5	64.6	64.9	67.2	50.7	53	56.5

### 考察

全体の平均正答率は、全国を4.5ポイント下回りました。観点別の平均正答率では、「知識・技能」が、県と全国平均正答率とほぼ同等でしたが、「思考・判断・表現」は、全国を5.8ポイント下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、10問の正答者数が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、昨年度、課題となっていた「二次元の表」の読み取りや、「台形」の意味理解、2位数の乗法計算の正答率が全国を上回りました。しかし、「比例関係」を用いて式や言葉で求める数量を記述する問題や「割合」の問題については、県と全国を10ポイント以上、下回りました（※下記問題参照）。今後、「変化と関係」の領域を中心として、求め方や求めた答えを、式や言葉、数を用いて記述できる力を高める指導を充実させていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数16問



【小学校の算数で正答率が県・全国を大きく下回った問題】

1

同じですがたくさんあります。

- (3) いす4さゃくの重さをはかると、7kgでした。  
このいす48さゃくの重さは、何kgですか。  
求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、  
答えも書きましょう。



#### 【正答例】

##### 《求め方》

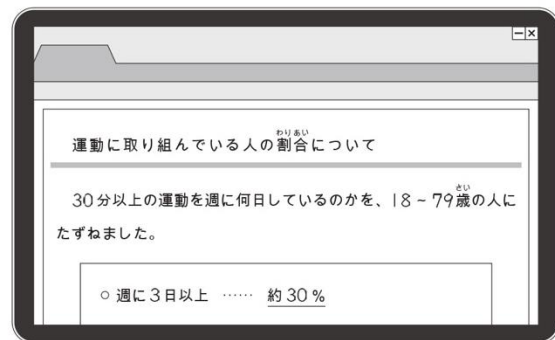
いすの数は、 $48 \div 4 = 12$ で、12倍になります。いすの数が12倍になると重さも12倍になるので、48さゃくのときの重さは、 $7 \times 12 = 84$ で84kgです。

※48脚が4脚の12倍であることなどを求め、椅子の数が12倍になると重さも12倍になることなどを用いて、48脚のときの重さを求めているといった2点が、もれなく記述されていることが正答の条件となる。

《答え》 84(kg)

4

あいさんは、毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養・すいみんが必要であることを学習しました。そこで、インターネットで運動について調べると、下のような記事を見つけました。



1日に30分以上の運動を、週に3日以上している人の割合は約30%なのですね。

- (1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のアからオまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 100人をもとにした0.3人の割合
- イ 100人をもとにした3人の割合
- ウ 100人をもとにした30人の割合
- エ 10人をもとにした3人の割合
- オ 30人をもとにした1人の割合

【正答】 ウ、エ

### (3) 中学校 国語

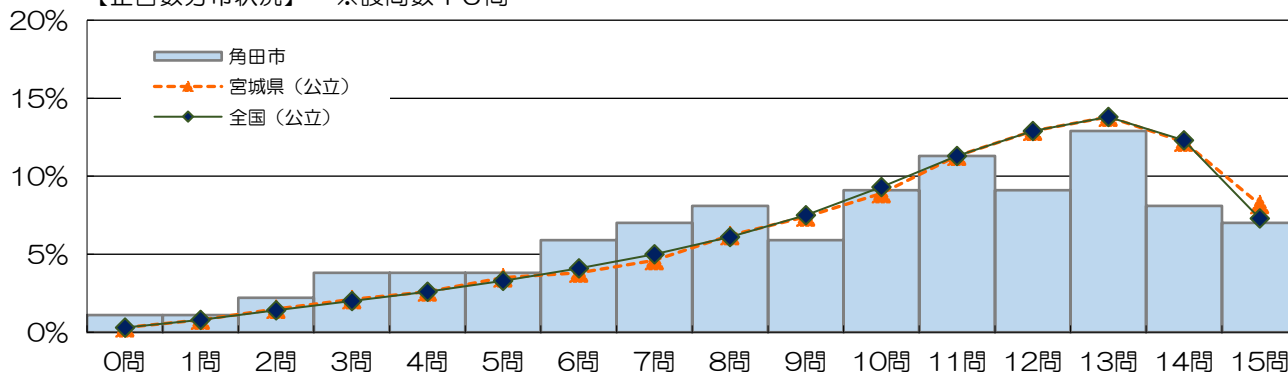
[%]

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
国語	64	68	69.8	65.1	70.1	69.4	63.7	69.8	69.7

#### 考察

全体の平均正答率は、全国を5.8ポイント下回りました。観点別の平均正答率は、「思考・判断・表現」が全国と県の平均正答率を6ポイント程度下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、13問の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「文脈に即した漢字を書く」問題が、県・全国の正答率を上回りました。しかし、「話の内容を捉えた効果的な質問」を選択する問題では、県・全国の正答率を10ポイント以上下回りました。今後は、話し手や読み手といった他者意識を踏まえた適切な質問の仕方や叙述する力を高める指導を行っていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数15問



### (4) 中学校 数学

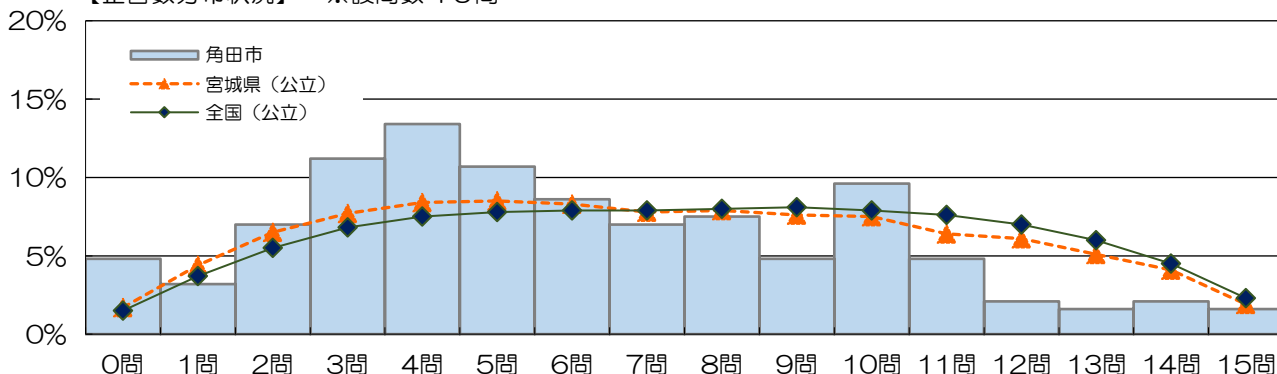
[%]

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
数学	41	44	51.0	45.8	52.8	55.7	30.5	39.3	41.6

#### 考察

全体の平均正答率は、全国を10ポイント下回りました。観点別の平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」のいずれも、県の平均正答率を9ポイント以上下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、4問以下の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「自然数」「累積度数」「四分位範囲」の意味や理解をみる問題の正答率が、県と全国の正答率を10ポイント以上下回っていました（※次頁問題参照）。今後、「データの活用」の領域における表やグラフなどを活用して数学的に処理する力や、目的に応じて式を変形したり、式の意味を読み取ったりする力、そして、問題解決の過程や結果を振り返りながら、筋道立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する力等を高める指導を行っていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数15問



【中学校の数学で正答率が県・全国を大きく下回った問題】

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日とい  
います。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅  
くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域  
も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の  
黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録が  
ありました。

二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日か  
らの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日  
が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。  
そして、二人は次のような表にまとめました。

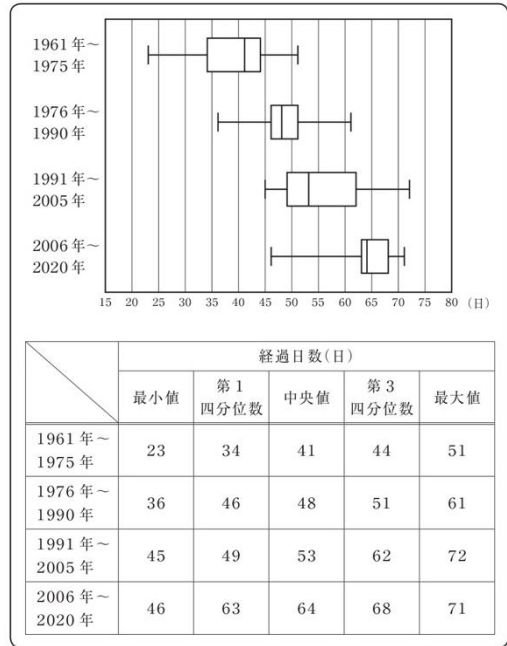
各年の黄葉日

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さ  
くなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数  
を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の  
傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまり  
として1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、  
2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

黄葉日までの経過日数の分布



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

【正答】 10

【求め方】

『四分位範囲』とは、75% (第3四分位数) から25% (第1四分位数) を引いた値である。よって、1961年～1975年の第3四分位数は「44」、第1四分位数は「34」なので、四分位範囲は、「44-34=10」となる。

(5) 中学校 英語

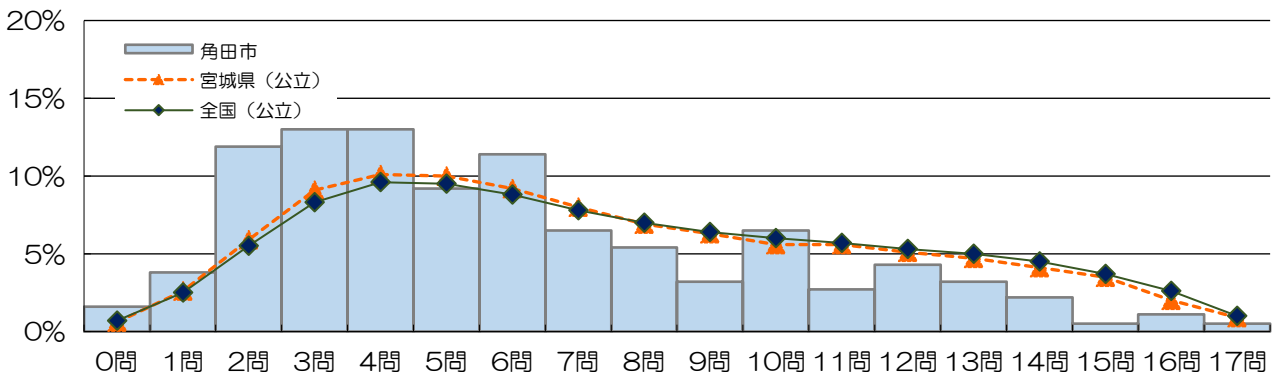
〔%〕

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
理科	36	39	45.6	39.4	49.9	51.5	31.1	37.8	38.8

考察

全体の平均正答率は、全国を9.6ポイント下回りました。観点別の平均正答率は、「知識・技能」が、県と全国平均正答率を10ポイント以上下回りました。また、正答数分布状況のグラフ(下記)からは、3～4問の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「短い文章の概要を捉える問題」の正答率が、県と全国平均正答率を10ポイント以上下回っていました。今後、物語や説明文等、まとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語・一文の意味等、特定の部分にのみとらわれることなく、登場人物の行動や心情の変化や全体のあらすじ等、各パラグラフの構造を基にして書き手が述べている大まかな内容を捉えられる力を高めていく指導を行っていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数17問



# 3 児童生徒質問紙調査結果の概要

## (1) 児童生徒質問紙調査結果の概要

※枠内の数字は回答した児童生徒の割合<上位 2 段階の肯定的な回答を集約した割合>  
太文字下線部の箇所は、県平均、全国平均を共に上回った項目

### ① 基本的な生活習慣・人間関係について [%]

	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	朝食を毎日食べていますか	92.8	94.8	93.9	90.3	92.7	91.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.9	83.3	81.0	75.2	82.2	78.0
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	<u>91.0</u>	90.7	90.5	90.8	92.5	91.3
4	友達関係に満足していますか	<u>91.9</u>	89.6	90.3	<u>88.7</u>	88.3	88.7
5	困りごとや不安のある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	<u>69.5</u>	67.2	68.5	<u>67.2</u>	66.2	66.4

### 考察

朝食を毎日食べることや起床・就寝時刻が決まっている児童生徒の割合は、全国平均とほぼ同等の傾向にあり、家庭での生活リズムはおおむね整っている様子がうかがえます。

「友達関係に満足している」と回答した割合は、小学生は全国平均よりも高く、中学生もほぼ同等の傾向にあります。また「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した割合は、小・中学生ともに全国平均よりも高く、より良い人間関係づくりを築くことができている様子がうかがえます。

基本的な生活習慣（項目 1, 2, 3）については、全国平均とほぼ同等の傾向ですが、強い肯定の割合がやや低いので、更なる習慣付けが図られるよう促していく必要があります。

### ② 志教育、自己肯定感等について [%]

	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	自分には、よいところがあると思いますか	82.4	80.9	83.5	73.7	79.9	80.0
2	将来の夢や目標を持っていますか	<u>83.8</u>	81.1	81.5	65.0	67.6	66.3
3	人が困っているときは、進んで助けていますか	<u>94.7</u>	89.2	91.6	<u>90.9</u>	87.9	88.1
4	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	94.7	96.6	96.9	<u>96.8</u>	96.0	95.5
5	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	<u>97.7</u>	95.4	95.9	<u>96.3</u>	94.9	94.9
6	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	<u>92.4</u>	90.3	91.0	83.9	85.6	86.8
7	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	74.3	76.0	76.8	<u>67.2</u>	66.0	63.9

### 考察

小・中学校ともに「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」と回答している割合が全国平均よりも高く、志教育を通して他者との関わりを尊重し役割を果たそうとする心の育成が図られていることがうかがえます。一方「自分にはよいところがある」と回答した割合は、昨年度に比べて改善が見られたものの、小・中学校ともに全国平均を下回りました。また幸福感（項目 6）については、全国平均に比べて小学校が上回り、中学校が下回りました。

今後は、自己肯定感や自己有用感、幸福感を高めるための教育活動の工夫をより一層進めるとともに、地域貢献に資する学習機会の充実を図っていくことが必要です。

③ 家庭での学習について

〔%〕

	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の予習や復習を含む)	<b>83.8</b>	70.3	70.7	<b>60.8</b>	59.8	55.0
2	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) (小学校1時間以上、中学校2時間以上)	53.8	54.5	57.1	42.4	62.6	65.8
3	学習塾や家庭教師の先生に教わっていますか (インターネットを通じて教わっている場合も含む)	28.2	36.7	45.4	39.3	53.8	60.0
4	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書を含む、教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) (30分以上)	35.3	36.2	37.3	22.6	27.8	28.4
5	学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間PC、タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く) (小・中共に1時間以上)	17.6	18.0	17.9	14.0	15.0	13.4

考察

自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる児童生徒の割合は、全国平均に比べて大きく上回っているものの、学習時間については小・中学校ともに短い傾向にあり、特に中学校においては全国平均を大きく下回りました。学習塾へ通ったり家庭教師に教わったりしている児童生徒の割合が、全国平均より低いことも要因の一つとして考えられます。読書の時間も小・中学校ともに全国平均を下回りました。ICT機器を活用した家庭学習の時間については、全国平均とほぼ同等の割合でした。

今後は、計画的に家庭学習を進める習慣を維持するとともに、ICT機器の積極的な活用など学習の質の更なる向上と学習量の充実について働きかけを行っていく必要があります。

④ 学校での学習について

〔%〕

	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	学校に行くのは楽しいと思いますか	<b>89.1</b>	85.5	85.3	77.4	81.7	81.8
2	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	75.7	73.4	76.5	72.1	77.8	77.6
3	授業で学んだことをほかの学習で生かしていますか	<b>84.2</b>	82.5	81.9	<b>78.5</b>	71.5	69.9
4	国語の授業の内容はよく分かりますか	<b>91.9</b>	86.0	85.7	<b>86.5</b>	81.8	80.0
5	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	<b>84.8</b>	77.3	81.2	72.6	71.5	73.3
6	(小) 英語の勉強は好きですか (中) 英語の授業の内容はよく分かりますか	63.8	66.9	69.3	62.4	61.0	63.9
7	小5、中2までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使しましたか(週1回以上)	<b>92.9</b>	89.2	86.3	80.2	91.9	87.5

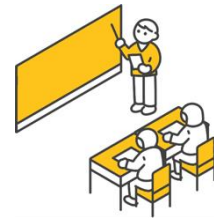
考察

「学校に行くのは楽しい」の項目では、小学校は全国平均を3.8ポイント上回る一方、中学校は4.4ポイント下回りました。「授業で学んだことをほかの学習で生かしている」また、国語や算数・数学において「授業内容がよく分かる」と回答している児童生徒の割合が全国平均に比べて高い傾向にあり、授業改善の成果が表れてきていると考えられます。項目7の結果から、ICT機器を活用した授業は、特に小学校で積極的に行われていて、中学校での更なる活用が求められます。

今後も「学びって楽しい！」を合い言葉に更なる授業改善に努め、学力向上を推進していくことが必要です。



## 4 角田市教育委員会の取組



角田市学力向上推進委員会を組織し、小中学校が連携して取り組む児童生徒の資質・能力育成の方策を検討・実践・改善します。

- (1) 学校と教育委員会の担当で組織する「角田市学力向上推進委員会」で、児童生徒の実態等についての情報交換を行い、具体的な学力向上に向けた方策を検討します。また、中学校区ごとの9年間を見通した取組について協議し、小・中の連携を図ります。
- (2) 宮城県教育委員会指定事業「学力向上マネジメント支援事業」「共に学ぶ教育推進モデル事業」を受け、それに伴う研修会や研究授業を実施します。

標準学力調査を年2回実施します。

小・中学生を対象とした、国語、算数・数学の標準学力調査を年2回実施し、本市児童生徒の学力・生活習慣等の現状と課題を明らかにした上で、対策（授業改善）を講じます。

大学等と連携し、校内研修の講師を派遣するなどの支援を行います。

宮城教育大学（平成24年2月連携協力に関する覚書を締結）をはじめとする教育機関・民間企業などから専門家を招へいし、専門的かつ先進的な指導を受けながら実践的な研究授業を行い、授業改善や指導力の向上を図ります。

GIGA スクール構想を生かして児童生徒一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育・ICT 環境を実現します。

- (1) ICT や先端技術の効果的な活用を図り、学習指導要領の着実な実施、個別最適な学びや支援を推進し、学びの質を向上します。
- (2) 児童生徒一人ひとりに、タブレット端末（Chromebook）を配布し、授業だけでなく、家庭学習等に活用できるようにします。

学校図書館支援員・特別支援教育支援員を配置し、学校及び児童生徒をサポートします。

- (1) 学校図書館支援員の配置（令和5年度は2名）により、学校図書館利用の促進や学校図書館の整備に努め、読書に親しむ環境を整えます。
- (2) 児童生徒一人ひとりのニーズに合った教育活動の支援のために、各学校に特別支援教育支援員を配置（令和5年度は30名）し、個に応じた指導の充実に努めます。

積極的に情報を公表し、学校・家庭・地域の連携を図ります。

生活習慣や学習習慣等の課題について、学校・家庭・地域が情報を共有し、連携しながら改善に向かうことができるように、必要な情報を積極的に公表します。

適応指導教室を設置し、様々な「学び」の形を支援します。

平成30年6月より、適応指導教室（名称：Coco はうすかくだ）を開設し、児童生徒のニーズに合ったサポートを行い、学びを支援しています。

